

いきいき健康生活
鴻巣市広報「かがやき」 平成23年4月15日号 掲載
痔 と 治 療 法

痔には、痔核（イボ痔）・切痔・穴痔等、様々なものがあります。その中でも痔核は適度のいきみや、血行障害などにより生じる肛門部の腫れで、二足歩行をする人間特有の病気です。

治療には、できるだけ侵襲を少なく、可能であればメスをいれなくてすむ様な方法が望まれます。

最近、内痔核（肛門の歯状腺の中にあるイボ痔）の新しい治療が広がっています。優れた治療法の1つに、ALT療法（すべての痔核に良いという訳ではありません）があります。

元々は中国で始まった治療法ですが、局所麻酔ですみ、内痔核にジオンという薬を注入することにより、痔核に炎症を起こさせ、痔核の血管を潰して痔核そのものを硬化・縮小させます。

日帰りでも行うことができ、副作用や術後の痛みも少なく、高齢の方や持病をお持ちの方にも施術できます。

また、外痔核や粘膜の脱出するような痔には、PPH（自動縫合器）によって腸の粘膜を切除し、脱出した肛門を吊り上げて正常な位置に戻す治療法も行われています。

この方法は保険診療ではなく、やや侵襲が大きく数日間の入院を必要としますが、肛門を直接切開等しないため、痛みは少なく優れた治療法です。ヨーロッパではこの方法が多用されています。

排便した後に肛門から出血をする方やイボのようなものがとび出して困っている方、痔の手術は痛くて心配と思っている方、仕事を長く休めないと思っている方はぜひ、医師にご相談ください。